



諏訪湖通信84号

令和7年6月20日号 発行: 諏訪湖創生ビジョン推進会議



諏訪湖創生ビジョン推進会議会長 沖野外輝夫氏 第32回信毎賞受賞決定

諏訪湖クラブが2年越しで応募していました当会の沖野外輝夫会長の信毎賞受賞が、令和7年6月4日の選考委員会で最終決定し、6月5日の信濃毎日新聞朝刊で報道されました。なお、授賞式は7月4日に長野国際ホテル21にて行われます。
誠におめでとうございます。

第32回信毎賞2氏1団体に

沖野外輝夫さん(八十八歳)

沖野会長は、生き物と環境の関係を研究する生態学者で信州大学の名誉教授でもあります。

諏訪湖で発生するアオコ(水が緑色になる現象)の原因を調べる研究に力を入れました。この研究によって、諏訪湖の水をきれいにするための方法の土台を作りました。また、後述の水質浄化実験にも携わってきました。

研究者として、地域の人たちが環境を守る活動を応援し続けており、現在は諏訪市に住んでいます。

なお、沖野会長の他、大城和恵さん、満蒙開拓平和記念館が受賞されました。

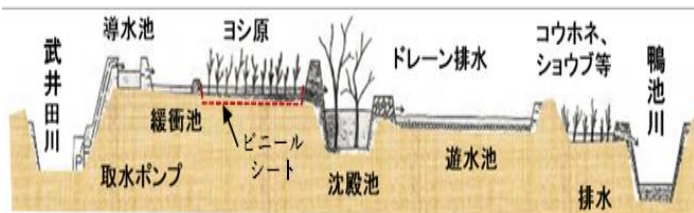
水辺整備② 沖野外輝夫氏の企画・指導によりヨシ原による水質浄化実験を実施

わが国でも注目を浴びたヨシ原による水質浄化実験が沖野外輝夫氏の企画・指導により平成5年(1993)～平成8年(1996)行われました。

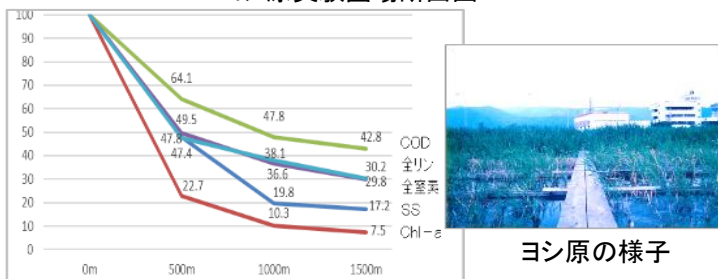
場所: 諏訪湖流域下水道処理場西側

内容: 武井田川の水をくみ上げ鴨池川に流す水路にヨシ原を造成し、水の浄化効果を調査。

水路延長1,400m、幅2.5m、面積3,500㎡にヨシ12万本を移植、5日間で水路を通過させる。



ヨシ原実験圃場断面図



ヨシ原の様子

ヨシ原による汚濁物質の除去状況(平成6年3月～12月)

この結果を踏まえ、平成7年に諏訪湖周囲を8ゾーンに分けて諏訪湖水辺整備マスタープランが作成され、その後の生態系に配慮した水辺整備が実施されました。

第13回諏訪湖創生ビジョン推進会議を開催

令和7年5月28日(水)、第13回諏訪湖創生ビジョン推進会議を諏訪合同庁舎講堂で開催(72名参加)し、昨年度の取り組み実績及び今年度の取組方針について情報共有と意見交換を行いました。



会議に先立ち、寄附をいただいたセイコーエプソン(株)様及び(株)ウオーターエージェンシー様に感謝状を贈呈しました。

ワーキングでは参加者が日ごろ活動を通じて感じている点などを中心に活発な意見交換をしていただきました。



諏訪湖の水質は改善傾向 ～令和6年度速報値がまとまりました～

令和5年度と比較して、全窒素を除くすべての項目で改善がみられ、特に透明度は大きく改善し、「諏訪湖創生ビジョン」に掲げる目標値を達成しました。

また、全りんは目標値及び環境基準を7年連続で達成しました。

単年度のみの結果で評価することはできませんが、長期的には水質は改善傾向にあり、皆さんの行動が水質改善に繋がっています。今後も「清らかで人々が親しむことができる湖水・湖辺」「多種多様な生き物を育む湖」を目指し、協力して取り組んでいきましょう。

単位: mg/L(透明度: m)

項目		R6年度速報値	R5年度	目標値(R8年度)	環境基準
COD	75%値	4.8	4.9	4.7	3.0以下
	(参考) 年平均值	4.4	4.5	4.0	—
全窒素	年平均值	0.67	0.66	0.62	0.6以下
全りん	年平均值	0.041	0.047	現状水準(環境基準の達成)の維持	0.05以下
透明度	年平均值	1.3	1.0	1.3m以上	—

諏訪湖創生ビジョン推進会議は、「人と生き物が共存し誰もが訪れたくなる諏訪湖」の実現を目指し取り組みます。
事務局: 諏訪地域振興局企画振興課 TEL: 0266-57-2901